



小中学生による建設工事風景図画作品

常陸太田市立金砂郷中学校／後藤 結以さんの作品

△
主
な
内
容
▽

- ▼ 新井副会長、中川原常任理事が国交大臣表彰を受賞
- ▼ 就職応援サイトへの掲載を
- ▼ 一斉休工アンケート結果
- ▼ コロナ対策を推進

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

新井副会長、中川原常任理事が国土交通大臣表彰 おめでとうございます

本会の新井孝副会長、中川原勇常任理事が、令和2年度の国土交通大臣表彰（建設事業関係功労）を受賞されました。まことにおめでとうございます。ますますのご活躍を祈念いたします。

新井 孝 氏

昭和32年3月14日生まれ、63歳。昭和53年に新井建設工業に入社、昭和56年から代表取締役社長。

本会では平成24年5月に理事、平成26年5月から常任理事を務め、令和2年6月に副会長に就任。境支部では平成26年4月から支部長を務め、地方建設業の発展に尽力されています。

建設業労働災害防止協会茨城県支部の理事、同支部古河分会の分会長も務め、労働災害防止や環境改善に力を注がれています。



●新井副会長

受賞は、協会をはじめ会員や社員の皆様のご支援・ご指導の賜物と心より感謝しています。今後も微力ながら地域社会の発展に精一杯努力していきたい。さらに業界の社会的地位向上に尽くしたい。

中川原 勇 氏

昭和24年2月28日生まれ、71歳。昭和55年から石塚産業(株)に勤務し、平成元年8月から代表取締役専務。本会では平成6年5月に理事、平成28年5月に常任理事に就任。常総支部では平成28年4月から支部長を務め、地域建設業の発展に尽力されています。

建設業労働災害防止協会茨城県支部の理事、同支部筑西分会の副分会長も務め、労働災害防止や環境改善にも努めています。



●中川原常任理事

受賞は、協会員をはじめとした多くの人の支えがあってこそです。これからも業界の発展のために、関係各位のご指導・ご鞭撻をいただきながら尽力してまいりたい。

長年の貢献に感謝

業界発展に尽力 会長表彰など受賞者

本会の会員企業や従業員の方で、長年にわたり業界の発展や建設業福祉共済事業に貢献された方を表彰する会長表彰などの受賞者が決まりました。おめでとうございます。今後のさらなるご活躍を祈念いたします。

受賞者（敬称略、順不同）

茨城県建設業協会会長表彰

【第3条（特別功労）】

◆梅原基弘（株）梅原工務店代表取締役、太田支部）

受賞者（敬称略、順不同）

- ◆桑名文雄(有桑名工業所代表取締役、常陸大宮支部)
- ◆清水慶兒(株)田本工務店代表取締役、常陸大宮支部)
- ◆神永昭夫(株)大子造園土木取締役、大子支部)
- ◆沢畑正剛(日立土木(株)代表取締役社長、高萩支部)
- ◆柴田嘉代子(株)柴田組代表取締役、鉾田支部)
- ◆和田英司(三国屋建設(株)代表取締役、潮来支部)
- ◆熱田勝義(平山建設(株)取締役、竜ヶ崎支部)
- ◆海老原雅夫(成建工業(株)代表取締役、土浦支部)
- ◆菊池茂(株)菊池土建代表取締役、常総支部)
- ◆大坂勇(大坂建鋼(株)代表取締役、常総支部)
- ◆岡野清(正栄工業(株)取締役、常総支部)
- ◆高崎重之(株)高崎建設代表取締役、境支部)

【第5条(会員の従業員)】

- ◆竹内常基(株)豊島工務店、水戸支部)
- ◆松海仁(株)福山工務店、水戸支部)
- ◆根本宣之(株)木建設(株)茨城本店、水戸支部)
- ◆千田祐司(東康建設工業(株)、常陸大宮支部)
- ◆大高功(牛木建設(株)、大子支部)
- ◆松本敦(株)岡部工務店、高萩支部)
- ◆鈴木三智男(株)菅谷建設、潮来支部)
- ◆小谷野進(佐々木建設(株)、土浦支部)
- ◆西宮幸一(株)齊藤建設、土浦支部)
- ◆串田利行(小川建設工業(株)、境支部)
- ◆大賀弘(大近建設(株)、境支部)

全国建設業協会会長表彰

【第2条第4号】

- ◆桑名文雄(有桑名工業所代表取締役、常陸大宮支部)
- ◆神永昭夫(株)大子造園土木取締役、大子支部)
- ◆沢畑正剛(日立土木(株)代表取締役社長、高萩支部)
- ◆熱田勝義(平山建設(株)取締役、竜ヶ崎支部)
- ◆菊池茂(株)菊池土建代表取締役、常総支部)
- ◆大坂勇(大坂建鋼(株)代表取締役、常総支部)

- ◆岡野清(正栄工業(株)取締役、常総支部)

【第4条第1号】

- ◆(株)梅原工務店(太田支部)
- ◆(株)田本工務店(常陸大宮支部)
- ◆(株)柴田組(鉾田支部)
- ◆三国屋建設(株)(潮来支部)
- ◆成建工業(株)(土浦支部)
- ◆(株)高崎建設(境支部)

【第5条】

- ◆竹内常基(株)豊島工務店、水戸支部)
- ◆松海仁(株)福山工務店、水戸支部)
- ◆根本宣之(株)木建設(株)茨城本店、水戸支部)
- ◆千田祐司(東康建設工業(株)、常陸大宮支部)
- ◆大高功(牛木建設(株)、大子支部)
- ◆松本敦(株)岡部工務店、高萩支部)
- ◆鈴木三智男(株)菅谷建設、潮来支部)
- ◆小谷野進(佐々木建設(株)、土浦支部)
- ◆西宮幸一(株)齊藤建設、土浦支部)
- ◆串田利行(小川建設工業(株)、境支部)
- ◆大賀弘(大近建設(株)、境支部)

建設業福祉共済団理事長表彰

- ◆石津健光(県建設業協会会長)
- ◆岩田豊(県建設業協会専務理事)
- ◆白土仙一郎(県建設業協会理事)
- ◆根崎茂(県建設業協会理事)
- ◆関伊津夫(県建設業協会理事)
- ◆海老原雅夫(県建設業協会理事)
- ◆関北斗(県建設業協会経理課係長)

各常任委員会の活動が本格始動

本会の常任委員会（経営企画、土木、建築、人財開発）の委員が決まり、令和2年度の活動が本格化しました。事業計画に基づき、研修会・講習

会の開催、発注機関との意見交換、働き方改革への対応など、本会の発展と会員企業の経営力向上・技術力の向上に努めていきます。

委員会の委員長・副委員長（敬称略）

【経営企画委員会】

- ◆委員長=佐々木孝夫（竜ヶ崎支部）
- ◆副委員長=藤田強（大子支部）、菊地和幸（境支部）、
鶴田哲男（常陸大宮支部）

【土木委員会】

- ◆委員長=梅原基弘（太田支部）
- ◆副委員長=田口誠壽（水戸支部）、大曾根文彦（常陸大宮支部）、
新井紀雄（常総支部）

【建築委員会】

- ◆委員長=沢畑正剛（高萩支部）
- ◆副委員長=松浦一久（竜ヶ崎支部）、
浅川清司（常陸大宮支部）、森貴敬（潮来支部）

【人財開発委員会】

- ◆委員長=高橋修一（鉾田支部）
- ◆副委員長=内藤裕二（水戸支部）、
澤島康男（常陸大宮支部）、柳瀬香織（大子支部）

就職応援サイトへの掲載を！

企業情報を積極的に発信



本会は、建設業の担い手確保や若年者の入職促進への取り組みとしまして、会員企業の求人情報やインターンシップ受け入れ情報などを掲載するWEBサイト「いばらき建設業 就職応援サイト」を開設しました。

会員の皆様には、同サイトへの積極的な掲載をお願いいたします。掲載費用は無料です。

サイトでは、掲載企業一覧はもとより、地域や職種、新卒・中途採用区分などの条件検索により、

就職希望者の希望に沿った企業情報を提供することができます。

またインターンシップ受け入れ情報や企業情報を掲載することで、より幅広い層へアピールしていきます。

入力方法などのお問い合わせは、本部業務課（電話029-221-5126）まで。

サイトは協会ホームページに掲載しています。
<https://ibakenjob.com/>

週休2日には「余裕ある工期」必要

一斉休工のアンケート調査

本会は、会員の皆様に協力いただいた令和元年度の毎月第2土曜日「県内公共工事一斉休工日」のアンケート調査結果をまとめました。

経営者、技術者とも一斉休工の取り組みは「若手の入職を促すには必要」と考えていますが、天候や日給作業員の観点から難しさも感じていることがうかがえます。

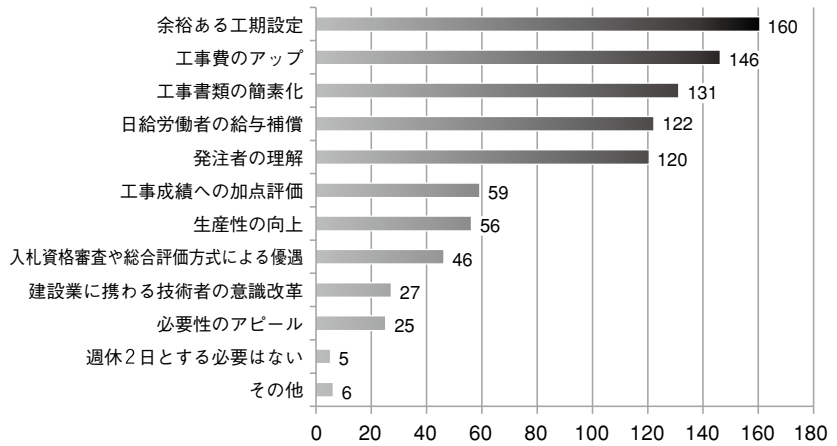
週休2日を実現するのに必要なことについては「余裕のある工期設定」「日給労働者の給与補償」「発注者の理解」「工事費のアップ」「工事書類の簡素化」を挙げた経営者や技術者が多くなりました。

アンケートには技術者257

件、経営者199件の回答をいただきました。

本会では今後も建設業の働き方改革をより積極的に進めていきます。令和2年度は、第2土曜日に加え第4土曜日にも一斉休工とする取り組みを行っています。

建設業界で週休2日(4週8休)を実現するためには何が必要だと思いますか(複数回答可)



費用増加など課題 新型コロナの影響アンケート

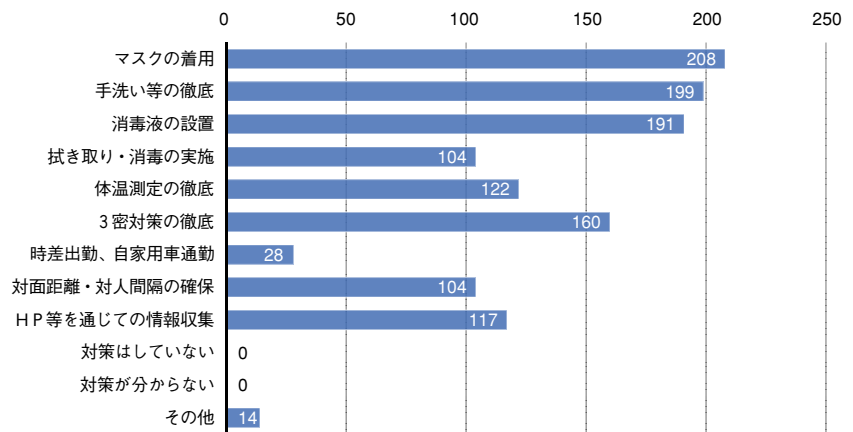
本会は、会員企業の皆様を対象に実施しました新型コロナウイルス感染症の影響と対策についてのアンケート調査をまとめました。

工事での新型コロナウイルスの影響は「ほとんどない」が70%。「多少ある」は28%で、主に一時中止や延期によるものであり、工事は再開しているため大きな影響はありませんでした。

新型コロナで困っていることは、感染拡大防止対策費用の増加、全工事に対するマスク着用の義務化など。技術者等の人員不足、専門業者(下請業者)の人手不足という意見もありました。

発注機関への要望は、公共工事の安定的予算の確保、工事の早期発注、余裕期間制度の拡大、テレワーク中でも担当者との打ち合わせが出来る環境の推進などが寄せられました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため講じた対策(回答215社)



3支部が献血に協力

筑西支部



筑西支部（小薬拓巳支部長）は6月22日、同支部会館の駐車場で献血活動が行い、約60人が協力しました。

地域貢献の一環として始まった活動も今年で5回目。建設業が有するマンパワーを駆使して、献血の重要性を広めていきます。

常総支部



常総支部（中川原勇支部長）は6月18日、支部会館の駐車場で会員企業の協力による献血活動を行いました。平日にもかかわらず118人が駆け付け、条件をクリアした101人が献血に協力。献血活動は今回で17回目となりました。

太田支部



太田支部（瀬谷實支部長）では7月3日、常陸太田市建設防災協議会（小林啓繁会長）と合同で献血活動を実施しました。呼び掛けに応えた建設業者や関係者など108人が参集。来庁者にも献血を呼び掛けました。献血活動は太田支部が平成26年度から、市建設防災協議会が平成25年度から社会貢献活動の一環として行っています。

太田支部
活動報告

公園道路に
サツキ植え付け



太田支部（瀬谷實支部長）は7月3日、道路美化活動として山吹運動公園の外周道路にサツキの苗200株を植栽しました。瀬谷支部長は「景観の向上につながるように、継続して行ってきたい」と話しています。同支部では毎年、地域貢献のため除草活動や歩車道境界ブロックの設置などのボランティア活動を実施しています。

講習会などでスキルアップ

県建産連が総会



茨城県建設産業団体連合会（会長・石津健光本会会長）の令和2年度の定時総会が6月23日に水戸市の茨城県建設センターで開かれ、令和2年度の事業計画などを決定しました。2年度も全国建設産業団体連合会の協力を得て無人航空機操縦士育成講習会、無人航空機安全技能証明試験、CALS/ECスキルアップセミナーを開催します。舗装技術講習会なども開きます。

技術力と地位向上へ

県土木施工管理技士会



茨城県土木施工管理技士会の令和2年度通常総代会が6月23日に開かれ、2年度の事業計画を承認しました。2年度も各種講習会や国土交通省関東地方整備局との意見交換会などを計画しています。

また新規事業として「1級土木施工管理技術検定受験準備講習会」などの開催を検討していきます。

県の工事情報共有システムが拡大

茨城県検査指導課は、建設工事における事務作業の効率化や発注者と受注者の円滑なコミュニケーションが実現できるとして「情報共有システム」の活用を推進しています。

水戸土木事務所が昨年度から試行的に導入しており、今年度には残りの土木・工事事務所でも5件程度試行し、令和4年度から全工事に本格導入する予定です。

情報共有システムは、インターネット上で受発注者間の工事に関わる文書や写真、図面などの情報を共有・交換するものです。

利用に当たっては登録料や月額利用料がかかりますが、書類作成や打ち合わせのための移動などの時間が短縮することができ、生産性の向上や管理コストの縮減に大きな効果があります。

石津会長、全建の監事に

6月30日に開催されました全国建設業協会の定時総会で任期満了に伴う役員改選が行われ、本会の石津健光会長が監事に就任しました。

また全国建設産業団体連合会の定時総会における役員改選で、本会の石津会長が副会長に就任しました。

県、経審の対面審査再開

茨城県土木部監理課は、経営事項審査における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対応として原則書類送付としていましたが、7月2日から一部対面審査を再開しました。対面審査も事前予約が必要です。詳細は監理課建設業担当のホームページに掲載されています。

初のWeb講座を開催



本会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から初の試みとなるWeb講座を6月29日に開催しました。Web会議ツールのZoomを活用し、「建設業の3つの向上（採用・定着・生産性）を実現」をテーマに約20人が受講しました。

Web講座は会社や自宅などで受講できるため、本会では今後開催する各種講習会などでもWebを活用することを検討していきます。

建設業を担う“人財”に

新規入職者研修を定期開催



本会では、会員企業などの新規入職者を対象とする令和2年度の研修会を6月16日から開始しました。若者を対象とした研修は、会員企業の皆さんから定期的な実施を求める声が多かったため、今年度は全体で6回開催します。

研修会は月に1回ずつ全6回。安全管理や品質管理、原価管理、工程管理、コミュニケーション、キャリアアップ、マネジメント、後輩育成、リーダーシップなどを研修します。

会員の動向

〈代表者変更〉

▽水戸支部

(株)NIPPPO茨城統括事業所
高橋 忍 → 中西 功二

▽常陸大宮支部

(株)大栄建設
大内 克榮 → 大内 久美

▽鉾田支部

齊藤建設(株)
齊藤 ヨシノ → 齋藤 洋子

▽潮来支部

小若建設(株)
小山 富美子 → 小山 竜男
(株)田崎技術
田崎 雅広 → 田崎 翼

【建設フォトコンテスト】作品を募集

本会と建設未来協議会は、今年度の「いばらき建設フォトコンテスト」の作品を募集しています。地域インフラ整備の重要性や地域建設産業の役割をPRする作品を募ります。対象は建物、道路、橋、港湾、トンネル、ダムなど人の暮らしを支え、街をつくる「建設」のある茨城の風景です。

お問い合わせは本会フォトコンテスト係まで（電話029-221-5126）。

ちよつと一言



新型コロナウイルス対策、熱中症対策と対応しなければならない課題が多い建設業界です。また九州地方などを襲った豪雨で多くの被害が出ています。コロナや自然災害の一日も早い終息を願うとともに、災害時などの建設業の大切な役割が再認識されることも望まれます。（K）